



W校幼児部もちつき会

W校幼児部では、お正月を前にもちつき会を行いました。臼と杵を使ってもちつきをする機会は、日本でも少なくなっています。W校では、保護者の皆さんに様々な場面でお手伝いをいただき、今年ももちつきをすることができました。

幼児たちは家族に助けてもらいながら、杵を使って交替でもちつき体験をしました。周りで見ている子どもたちも「いち、に、さん、…」と声を合わせて数えて応援しました。

もちつき体験のあとは、お楽しみのおもちの試食タイム。磯部ときな粉のついたてもちをお腹いっぱいにいただきました。

なお、今年使用したもち米は the rice factory NEW YORK 様よりご寄贈いただきました。おかげさまでとっても美味しいおもちがつき上がり、参加者全員が大満足でした。ありがとうございました。



生徒会メンバーの成長が見られたW校中高等部冬まつり



本年度最後の生徒会主催行事「冬まつり」が行われ、各学級担任教師の顔で福笑い、障害物競走の2つのプログラムを生徒たちは楽しみました。

年間を通して継続的に自分たちで企画し、実行する経験を積んできた生徒会メンバーは、一人一人が確実に成長しました。スムーズな会の進行、皆が楽しめるように盛り上げるなどの配慮ができた生徒たち。補習校での学びは、教科の学習の中だけではなかったことが分かります。先輩たちが見せてくれた姿は後輩たちに受け継がれることでしょう。

「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール

2024 年度年間優秀賞(中学の部)

W校中等部 3年 岩崎咲奈さん



「週刊 NY 生活」の硬筆書写コンクールへの応募を補習授業校だより「架け橋」で呼び掛けたところ、たくさんの子どもたちが挑戦してくれました。その結果、第 54 回夏期課題で選考された W 校中等部 3 年の岩崎咲奈さんの応募作品が、見事 2024 年度年間優秀賞（中等部）を受賞しました。岩崎さんは賞状と協賛のゼブラ社より賞品が授与されます。おめでとうございます！

冬休みに次の課題に挑戦してみましょう！

第 56 回冬季課題が発表されています。補習校の硬筆コンクールもありますが、冬休みの時間を少しだけ使って「週刊 NY 生活」の硬筆書写コンクールにも挑戦してみませんか。個人で応募することができますが、1月 18 日（土）までに学級担任へ提出していただければ、校長が取りまとめて応募します。

なお、募集要項と各部のお手本、規定応募用紙を本校ホームページの【在校生向けページ】> 各種コンクール案内、応募要項】にアップロードしましたので、ご活用ください。

各部課題一覧

「とめ、はね、はらい」の基本点画を
最後まで正確に書き写します。

小学5・6年の部
感謝の言葉は、言う
側と言われる側の
両方の心を素直に
温かくし、幸福感や
優しい力に満ちている。

マスの中心に字を書くことと、十分な
筆圧を心がけて書きます。

漢字の「はね」は力強く、「はらい」は
ゆっくりと丁寧に書きましょう。
小学3・4年の部
ことが大切です。
気持ちも伝える
時は言葉と共に
感しやを伝えろ

小学1・2年の部
ありがとう。
大きな声で、
元気いぱい

● 小学1・2年の部

● 中学の部
感謝とは、人や物に向
け、有難い気持ちを
表します。これは、宗
教や思想に関係なく、
心に浸透している人類
共通の観念です。
● 幼児の部
ありがとう。

● 幼児の部
鉛筆をしっかりと持ち、姿勢を正して
大きく力強い字を書きましょう。

● 高校・一般の部
受けた恩や恵みに
出来る限り感謝の
心をもち報いをしようと
すること
マスの中心に字が整うように、そして
均一な字間の意識も忘れない。

● 高校・一般の部
報恩謝徳
受けた恩や恵みに
出来る限り感謝の
心をもち報いをようと
すること
点画の曲線、流し方や反りを意識しつ
つ、作型体に強さや優しさを表現します。